

—あなたの会社のEVP、使えてる？育ってる？—

それぞれの項目について、5段階で評価してください。

評価基準

- 5:とてもできている : 自信を持ってそう言える。仕組み・行動にも現れている。
 4:ある程度できている:一部実践されており、浸透も進んでいる。
 3:どちらとも言えない : 一部実践されており、浸透も進んでいる。
 2:あまりできていない : 一部に取り組みはあるが、弱い or 形だけ。
 1:まったくできていない:そもそも意識・取り組みがない。

No.	設問	評価(1～5)
1	EVPの意味と目的を、社内で共通言語として認識している	
2	自社のEVPを言語化している(または明文化されている)	
3	EVPは社員の声や現場の実感に基づいて設計されている	
4	採用ページや求人票にEVPが反映されている	
5	EVPは、経営理念やビジョンと整合している	
6	人事制度や評価制度とEVPが矛盾していない	
7	現場マネージャーがEVPの内容を理解し、言葉にして使っている	
8	社内でEVPについての対話の機会がある(1on1や会議など)	
9	EVPの浸透・活用状況を定期的に見直している	
10	EVPは採用だけでなく、育成・定着・エンゲージメント施策にも使われている	
	【合計点】	0

判定:合計スコアの目安

22～25点:かなり実践できている!

EVPが社内文化の一部になっており、採用・定着にも強い。

17～21点:一定の成果あり、今後の強化ポイントを特定しよう

もう一歩浸透へ。特に日常への接続や未来視点に注目。

11～16点:見直しの余地あり

形だけのEVPになっていないか? 原点と現場を再確認してみて。

10点以下:EVPの再構築を検討すべき段階

「作っただけ」になっていないか。まずは現場の声から聞き直そう。